

研究課題名	DPCデータを用いた入院時の各因子が予後に与える影響を検討した探索的研究
研究期間	実施許可日 ～ 2029年3月31日
研究の対象	2015年4月～2028年3月の対象期間内に広島大学病院に受診した方
研究の目的・方法	研究目的：県内の高次医療機関として、高度医療を提供している広島大学病院における入院した症例を探索的に解析し、広島大学病院がこれまで担ってきた医療的な役割の振り返りを行い、今後必要とされうる診療や治療法など新たな価値を網羅的に探索することを目的とします。 研究の方法：、本研究は、大学病院における入院患者さんの入院データを調査、分析します。
研究に用いる試料・情報の種類	提供を受ける情報は、性・年齢・併存症・医療費負担割合・医療費・入院時の診断名・各種検査結果・治療介入の方法・入院期間・内服薬剤です。 (個人を特定可能な情報は解析に用いません) 試料・情報の管理責任者： 広島大学病院 総合内科・総合診療科 診療講師 宮森 大輔
利用または提供を開始する予定日	2021年6月8日(実施許可日以降)
個人情報の保護	得られた試料・情報から氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し、代わりに新しく研究用の番号を付けて取り扱います。
外部への試料・情報の提供	本学単独研究のため外部への提供は行いません。
研究組織	本学の研究責任者 広島大学病院 総合内科・総合診療科 診療講師 宮森 大輔
その他	研究結果は個人が特定できない形式で学術誌、学会等で発表されます。
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお、公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。 本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。 〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 T e l : 082-257-5555 広島大学病院 総合内科・総合診療科 診療講師 宮森 大輔